

科目名	臨床薬理学	
担当指導者	松本圭司	
時間	45	(厚生労働省の規定時間：45時間)
学習概要	薬剤学、薬理学を学ぶ 1. 薬物動態の理論と演習 2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3. 主要薬物の相互作用の理論と演習 4. 主要薬物の安全管理と処方の理論と演習 ※年齢による特性（小児/高齢者）を含む	
到達目標	①多様な臨床場面において必要な治療を理解し、患者の安心に配慮しつつ、ケアや特定行為を安全に実践する能力を身につける ②主要な疾患別の治療薬および予防薬の作用機序、体内動態、薬理作用、副作用、相互作用、投与方法、投与後のモニタリングについての基本的な知識を身につける ③薬剤学・薬理学の基礎知識を深め、安全管理と処方の理論を理解できる	
研修方法/ 評価方法	講義（放送授業・面接授業）：e-ラーニングの受講/確認テスト、添削指導 演習（面接授業）：ペーパーシミュレーションによるディスカッション・レポート提出/観察評価 試験（筆記試験）：科目修了試験の実施（教室に集まりPC端末もしくは試験用紙を用いて行う）	
備考	講義時間は、動画再生時間、動画中の課題の時間、確認テスト（テスト受講、採点、解答確認）の時間を含まず。自学の時間は含まれません	

学習内容	タイトル	講義	演習	評価
1. 薬物動態の理論と演習				
①薬物動態	薬物相互作用と薬物動態学の基礎知識	1		
	抗菌薬の投与期間	0.5		
【演習1】 ※①視聴後	薬物動態・薬物相互作用		0.5	
2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3. 主要薬物の相互作用の理論と演習				
②神経系	慢性疾患のてんかんと急性期の急性症候性発作とてんかん重積状態	1		
	疼痛	1		
	頭痛・片頭痛の臨床薬理学	0.5		
	鎮痛・鎮静・せん妄	1		
	悪心・嘔吐	0.5		
	パーキンソン病	0.5		
	脳卒中の急性期治療と慢性期2次予防	0.5		
③循環器	虚血性心疾患の薬物治療	0.5		
	高血圧の薬物治療	1		
	慢性心不全の薬物治療～左室駆出率の低下した心不全～	1		
	不整脈の薬物治療～抗不整脈薬～	1		
	脂質異常症	0.5		
	抗凝固薬・抗血小板薬	1		
④呼吸器	喘息・COPDの薬物治療	1		
	肺炎の薬物治療	1		
⑤消化器	便秘・下痢	0.5		
	消化器薬（胃・十二指腸潰瘍、ピロリ菌除菌）	0.5		
⑥内分泌・代謝	糖尿病の薬物治療	1		
	高血糖緊急症	1		
	甲状腺治療薬	0.5		
⑦感染症	抗菌薬治療の概論	0.75		
	敗血症	1		
⑧免疫	抗リウマチ薬・抗アレルギー薬	0.5		
	免疫抑制薬	0.5		

学習内容	タイトル		講義	演習	評価
㊸悪性腫瘍	抗がん剤1～抗がん剤の臨床薬理～		0.75		
	抗がん剤2～副作用と対策～		0.75		
㊸血液	血液製剤、輸血		0.5		
	造血薬 (ESA・G-CSF・TPO)		0.5		
㊸感覚器	皮膚疾患 ステロイド外用剤		0.5		
㊸整形外科	骨粗鬆症		0.75		
㊸精神系	不眠症・せん妄		1		
	向精神薬		1		
㊸その他	電解質・輸液		1		
	栄養療法		0.5		
	痛風・高尿酸血症		0.5		
	漢方		1		
【演習2】 ※②視聴後	脳梗塞			1	
【演習3】 ※③視聴後	高血圧			1	
	心不全			1	
	高齢者の慢性疾患			1	
【演習4】 ※④視聴後	気管支喘息			1	
	肺炎			1	
【演習5】 ※⑥視聴後	1型糖尿病の薬物治療			1	
	2型糖尿病の薬物治療			1	
【演習6】 ※⑦視聴後	感染症			1.5	
【演習7】 ※③視聴後	不眠症			1	
4. 主要薬物の安全管理と処方の理論と演習					
㊸安全管理・処方	小児における薬物療法の注意点とワクチン		1		
	特別に考慮の必要な患者群 (妊婦・授乳婦・高齢者)		1		
	肝・腎障害患者へ投与する際の注意点		1		
	処方の基礎・法的問題・麻薬・向精神薬の取り扱い		0.5		
	医薬品副作用被害救済制度		0.5		
【演習8】 ※⑨視聴後	妊婦に対する薬物療法			0.5	
まとめ					
	科目修了試験				1
			32.5	11.5	1